

9月行事予定

【◎：スクールカウンセラー常松先生来校日】【★：校庭開放 14:30~17:00 雨天時中止】

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
9/1	木	始業式 B時程 3時間 (給食なし)	16	金	馬橋タイム 生活科見学(2年) ◎
2	金	B時程 4時間 身体測定(6年) (給食なし) ◎	17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	敬老の日
5	月	全校朝会 5時間 (3~6年) 身体測定(5年) 給食始	20	火	馬橋タイム 消防署見学(3年)
6	火	馬橋タイム 身体測定(4年)	21	水	朝読書 まばスポ(1・6年) ◎★
7	水	安全指導 身体測定(3年) 委員会 ★	22	木	
8	木	学級の時間 身体測定(2年)	23	金	秋分の日
9	金	馬橋タイム 身体測定(1年・仲よし) ◎	24	土	
10	土	土曜授業	25	日	
11	日		26	月	全校朝会
12	月	体育朝会 3年生月曜日 6時間授業開始	27	火	馬橋タイム 座・高円寺(4年)
13	火	馬橋タイム 町たんけん(2年)	28	水	朝読書 理科出前(6年) おはなし会(2年) ★
14	水	朝読書 まばスポ(3・4年) 避難訓練 クラブ ★	29	木	理科出前(6年) おはなし会(1年・仲よし)
15	木	学級の時間 まばスポ(2・5年)	30	金	馬橋タイム 学校見学(仲よし) ◎

今月の目標

生活…あいさつやおじぎをきちんとしよう
保健…けがを防ごう
給食…きまりを守って楽しい給食にしよう

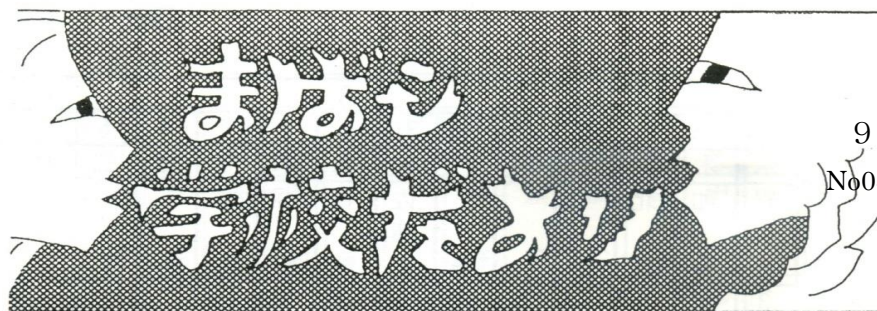
仲よしミニつうしん

2学期は、創立70周年記念式典があります。大好きな馬橋小学校のことを学習し、各学年とも交流を深めながらお祝いの気持ちを高めていきたいと思えます。

まばしの教育

70周年を盛り上げようについて

委員長会議では、各委員会の委員長と代表委員が集まり、よりよい学校生活を目指し話し合いをしています。7月の議題は「70周年を盛り上げるために何ができるか。」でした。1学期のまばしんぴっくは、高学年が中心になり創り上げました。今回も5・6年生が委員会活動を通して準備を進めていきます。全校児童にとって心に残る1年間にするためにはどのような工夫ができるのか、「馬橋小学校を知ろう・伝えよう・つなげよう」というテーマを掲げ、どんな活動が行われるといいかを考えました。2学期は委員会ごとに計画を立て、実働していきます。馬橋小学校の70周年をお祝いする気持ちを表現するために、アイデアを出し合い、人とのかわりを大切にしながら、子どもと創る学校行事の実現を目指します。



9月号
No04 - 581



杉並区立馬橋小学校

～ 今も 昔も ～

校長 小澤 伸生

今年の夏休みも連日猛暑が続きました。重ねて新型コロナウイルスも第7波が襲来し、健康管理に悩まされました。ともあれ本日より2学期が始まります。10月にはいよいよ創立70周年記念事業を迎える大切な2学期です。地域・保護者の皆さまのご理解ご協力をいただきながら、子供たちとこの大切な節目の時を創っていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、現在急ピッチで準備を進めている周年記念事業ですが、その一つに「まばし風土記」の作成があります。馬橋小の建つこの馬橋の地、その歴史と学校の歩みを子供たちが学ぶことができるようにと、社会科の副読本として作製しています。地域の方々や同窓生からお預かりした資料、そして周年毎に作製されてきた記念誌を資料としながらまばし風土記を創っていますが、その過程で改めて学んだこと、気が付かされたことがあります。

その一つは、「馬橋小は地域の中で、地域と共に育まれてきた学校である」ということです。

昭和27年、戦後の混乱期を経て、旧陸軍気象部の跡地に建てられた本校の校庭は、開校当初はコンクリートの瓦礫が残る野原だったと言います。地面を掘り起こし、土をならし、ご家庭から頂いた300本あまりの樹木を、保護者と教職員が一緒になって校庭のあちこちに植えたものが今も季節毎の花を咲かせています。また3本の若杉の真ん中を金色に染め抜いた「馬橋」の文字が本校の校章ですが、この校章は保護者の皆さんから図案を募集し、その中から選ばれ制定されたものです。本校は平成29年に学校運営協議会を立ち上げ、文字通り地域運営学校としての歩みを始めましたが、実は開校以来、地域の中で、地域と共に歩んできた学校であったのです。

もう一つは、「馬橋小はいつの時代も子供たちの自主性を重んじる学校であった」ということです。

昭和36年に創られた最初の周年記念誌「まばし」の中に、古川静雄第2代校長のこんな文章を見つけました。

「新しい教育は児童の自主性を重んじているが、自主活動の根底をなすものは児童が自由に感じ、自由に表現できる能力をもつことである。馬橋の学級会は児童が自由に話し合い、明るい楽しい雰囲気を作り以上高めるように努力し、新教育の礎石をなすべしねらいがおかれている。」(原文ママ)

戦争へと突き進んだ全体主義の戦前戦中教育を改め、平和的で民主的な国家形成者を育成する為の戦後の教育を、熱く志す古川校長の気概がこの文面からもひしひしと感じられます。

度々お伝えしてきましたように、本校は多くの場面で子供たちの自主的な活動を促すことに積極的に取り組んでいます。日々の学習活動はもとより、1学期に行われた運動会「まばしんぴっく」、そして来月の周年記念事業においても、各学級や各位委員会から児童がアイデアを募り、児童が中心となって役割を分担し、70周年を盛り上げようと取り組んでいます。大人が決めたものを児童に与える方が時間がかかりませんし、時には見栄えのいいものが出来上がりますが、ものごとを自分事として捉え、積極的に関わろうとする姿勢は育ちません。平和の意味や価値が問い直されている今だからこそ、開校以来大切にしてきた子供たちの自主性を重んじる活動をこれからも紡いでいかなければいけないと感じています。「地域の中の学校」と「子供の自主性」これは今も昔も馬橋小を支える大きな柱なのです。